

企画・構成について

生物多様性とは 入り口壁面より

「生物多様性 (biodiversity)」は、「生物学的多様性 (biological diversity)」を意味する造語で、生態系もしくは地球に多様な生物が存在していることをさします。今年には生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が日本で開催される年でもあり、COP10支援実行委員会のサイトに子ども向け漫画「みんなつながっているんだねー生物多様性ってなに?」掲載されていまして展示許可を頂きました。ダウンロードも可能です。

<http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/biodiversity/pamphlet.html>

私達ができること

現在の状況について簡潔で読みやすくとまとまっていた「JICA's world」(2010年7月号)をJICAの許可を得て展示しています。100部寄贈いただきましたので、お持ち帰りいただけます。CSRレポート/社会・環境報告書は雇用・環境も含めた企業の活動についての報告書です。2008年版はお持ち帰りいただけます。

生物分布・絶滅危惧種について知る

日本地図は環境省が自然環境保全基礎調査の一環で把握してきた『日本の動物の分布図集』(2010)の一部です。掲示許可を頂きました。<http://www.biodic.go.jp/kiso/atlas/>よりダウンロード可能。宇佐市のマップ周囲の写真は「宇佐自然と親しむ会」が作成したリスト「宇佐市に生育するレッドデータ関係種」より一部を名前と生育環境と共に掲示しています写真データは「宇佐自然と親しむ会」及び「大分昆虫同好会」にご提供頂きました。

絶滅した動物について知る 中央展示ケース

「どんな生き物が生きていたのかを知る研究」がずっと続けられています。生命の流れを知ることにつながるこの試みによって、今まで5~6回の大絶滅があったのではないかとされています。少女が発見した化石、イギリス・アメリカで恐竜ブームを巻き起こした芸術家、現代のしかけ絵本もその役を担っています。

生命のゆりかご~海洋 壁面ガラス入り口

地球の生命は海から生まれたと言われています。海水温の上昇によって危機に瀕しているといわれるサンゴ礁、知られざる深海や、海の豊かさの象徴ともいえるクジラの本を紹介します。

日本の天然記念物 壁面ガラス

世界に34地域ある「生物多様性ホットスポット」に指定されている日本列島。図書館に所蔵している「週刊 日本の天然記念物」を中心に展示しています。

SATOYAMAと大分の自然 壁面ガラス

COP10で日本が提案する予定である SATOYAMA は、手つかずではなく人の手が入って機能を高めた、持続性がある自然の姿です。大分の自然はほほ里山・里海。様々な調査も行われています。大分県土木事務所、大分県農林推参し同センターから資料をお借りしています。

展示資料の一部は入れ替える予定です。また、貸出・閲覧できる資料もあります。

minna tunagatteiru minna tunagatteiru

みんなつながっている

生物多様性と宇佐の生きもの展

ごあいさつ

「生物多様性」という言葉を聞いたことはおありでしょうか。種の多様性、種の中の遺伝子の多様性、生態系の多様性、様々な意味があります。

人間は人間だけで生きていくことはできず、多様な種が存在することで支えられています。

多くの生物が絶滅し、また、絶滅の危機にあり、その原因の大部分は私達人類にあります。その危機は遠い北極圏や海洋、熱帯雨林だけにあるではありません。

日本列島全体も世界34の「生物多様性ホットスポット(生物多様性が豊かでありながら破壊の危機に瀕している地域)」に指定されています。

今年には国連の国際生物多様性年であり、COP10が日本で開催される年でもあります。大分県でも2001年に発刊した『レッドデータブックおおいた』の見直しをし、宇佐市でも安心院高校の生徒たちによってオオサンショウウオの調査が進められています。

今回は子どもたちも楽しめるように、しかけ絵本や図鑑なども展示しました。

絶滅した動物たちについて、世界について、日本について、大分県や宇佐市の自然について、知って感じる機会とさせていただければ幸いです。

資料展示許可をいただいたCOP10支援実行委員会、国際協力機構(JICA)、環境省生物多様性センター、写真やデータを提供いただいた大分県宇佐土木事務所、大分県農林水産指導センター水産研究部浅海・内水面グループ内水面チーム、「大分昆虫同好会」および「宇佐自然と親しむ会」の大塚政雄先生に感謝いたします。

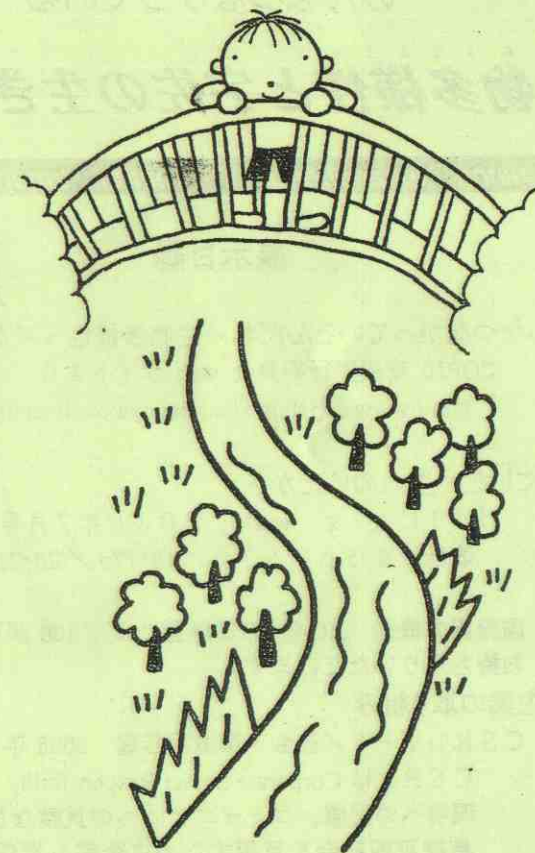
平成22(2010)年7月24日

宇佐市民図書館
渡網記念ギャラリー

minna tunagatteiru minna tunagatteiru

みんなつながっている

生物多様性と宇佐の生きもの展



2010.7.24~2010.9.5

10:00~18:00(日曜のみ ~17:00)
休館日…毎週月曜日・月末木曜日

宇佐市民図書館
渡網記念ギャラリー

〈展示目録〉

階段下

- ・ハッチョウトンボ 宇佐市溜池
- ・キビタキ (夏鳥) 低地～山地の森林
- ・エヒメアヤメ 安心院
- ・オオサンショウウオ 院内
- ・アカショウビン 低地などの森林

(写真提供:「宇佐自然と親しむ会」「大分昆虫同好会」)

【計5点】

minna tunagatteiru minna tunagatteiru

みんなつながっている

生物多様性と宇佐の生きもの展

minna tunagatteiru minna tunagatteiru

展示目録

入り口より壁面

「みんなつながっているんだねー生物多様性ってなに？」

COP10 支援実行委員会 web サイトより 表紙～16p

<http://www.cop10.jp/aichi-nagoya/biodiversity/pamphlet.html>

9点

大切にしたい生命のゆたかさ

「JICA's world」2010年7月号より

表紙/4.5p/6.7p/16.17p/20.21p

5点

国際協力機構(JICA)のご厚意により100部頂きました

お持ち帰りいただけます

日本企業の取り組み

CSRレポート/社会・環境報告書 2008年 70社分

CSRとは Corporate Social Responsibility

環境への配慮、コミュニティへの貢献などを含め

持続可能社会を目指すために企業も責任を果たすべき

という考えによる「企業の社会的責任」を意味します

お持ち帰りいただけます

一部企業の2009年版は1F特設コーナーにあります

日本の動物分布図集

環境省 自然環境局 生物多様性センター

<http://www.biodic.go.jp/kiso/atlas/>より

ヒクイナ/ガビチョウ/ムツギクノ、フツドジョウ/ベッコウ
トンボ/トウキョウダルマガエル、ナゴヤダルマガエル、
トノサマガエル/タゴガエル、オキタゴガエル、ヤクシマタ
ゴガエル、ナガレタゴガエル/エゾサンショウウオ、トウホ
クサンショウウオ、トウキョウサンショウウオ、ハクバサン
ショウウオ、ホクリクサンショウウオ、カスミサンショウウ
オ、アベサンショウウオ、オオイタサンショウウオ、ツシマ
サンショウウオ/オオギセル、シーボルトコギセル 10点

宇佐市に生育するレッドデータ関係種

宇佐自然と親しむ会作成リスト・データより一部

オシドリ アオバズク コアマモ カワツルモ ツクシガモ
ニホンヒキガエル(ガマガエル) カブトガニ幼生 マナヅル
エヒメアヤメ ハッチョウトンボ ナベヅル ハママツナ
ハヤブサ オツネトンボ オニバシリ オトメクジャク
オオサンショウウオ ヒシクイ マツバラン

19点

【計 33点】

絶滅した生きものを知る

中央展示ケース

『書名』 著者名 (出版社)

『恐竜時代』 ロバート・サブダ (大日本絵画) × 2

『実物大恐竜図鑑』 デビッド・ベルゲン (小峰書店)

『立体モデル大図鑑恐竜のからだ』 デニス・シャッツ (講談社)

『たのしいきょうりゅうずかん』 ジェームズ・ダイアズ

(大日本絵画)

『ティラノサウルス・レックス』 ジョン・シビック (文溪堂)

『ポップアップきょうりゅう』 パトリック・ワトソン (大日本絵画)

『これがほんとの大きさ! 続 古代の生きものたち』

スティーブ・ジェンキンス (評論社)

『MEGA BEASTS 絶滅した獣たち』

ロバート・サブダ (大日本絵画)

『恐竜一大むかしの生物』 ナショナルジオグラフィック協会

(大日本絵画) × 2

『恐竜博物館』 ジェン・グリーン (大日本絵画)

『ウォーターハウス・ホーキンスの恐竜』

ブライアン・セルズニック (光村教育図書)

『化石をみつけた少女 メアリー・アニング物語』

キャサリン・ブライトン (評論社)

【計 14点】

生命のゆりかご～海洋

入り口よりガラスケース

『原寸大 すいぞく館』 さかなクン 松沢陽士 (小学館)

『ナショナル ジオグラフィック傑作写真ベスト100 ワールド172』

(日経ナショナルジオグラフィック社)

『クジラ カ持ちの海の巨人たち』 きたむらまさお (大日本絵画)

『深海』 クレール・ヌヴィアン (晋遊舎)

『サンゴ礁』 スー・ウェルズ (大日本絵画)

『海洋探検』 ジェン・グリーン (大日本絵画)

『天地創造』 ブライアン・ワイルドスミス (大日本絵画)

『SHARKS』 ロバート・サブダ&マシュー・ラインハート

(大日本絵画) × 2

『クジラ 海の巨大な動物たち』 きたむらまさお (大日本絵画)

『サンゴ礁の世界』 スキューバズー (緑書房)

【計 11点】

日本の天然記念物

『週刊 日本の天然記念物』 (小学館)

01,04,08,09,11,12,16,21,22,24,26,28,29,30,34,37,

39,42,43,46,47,48,49,50

『日本の絶滅のおそれのある野生生物 脊椎動物編』

環境庁自然保護局野生生物課 (日本野生生物研究センター)

『日本列島に生きる未来への遺産』 篠原現人 他

(科学博物館後援会)

『絶滅危惧種・日本の野鳥』

バードライフ・アジア (東洋館出版社)

27点

SATOYAMA と大分の自然

※は借受資料

『日本列島の自然と私たち』 国立科学博物館 (国立科学博物館)

『動物たちのすみか』 ジェフリー・テロン (大日本絵画)

『棚田を歩けば』 青柳 健二 (福音館書店)

『棚田の四季』 平松 純宏 (グラフィック社) 27p 院内

『いつまでも残しておきたい日本の森』 福嶋 司 (リヨン社)

76p 宇佐八幡

『里山いきもの図鑑』 今森 光彦 (童心社)

『田んぼの生きもののおもしろ図鑑』 湊 秋作 (農山漁村文化協会)

『滅びゆく日本の昆虫50種』 朝比奈 正二郎 (築地書館)

『大分県の生物 1981』 (日本生物教育会)

『豊の国 大分の植物誌』 荒金 正憲 (荒金 正憲)

『豊の国 大分の植物誌 増補』 荒金 正憲 (荒金 正憲)

『レッドデータブックおおいだ』

大分県自然環境学術調査会野生生物専門部会

(大分県生活環境部生活環境課)

『大分県のトンボ』 九州トンボ談話会 (九州トンボ談話会)

※『河川環境資料』 1・2 (大分県宇佐土木事務所)

※『駅館川水系環境調査業務報告書』 平成17年3月

(大分県宇佐土木事務所/東洋技術)

※「大分県希少魚水族館(レッドデータブック大分より抜粋)」

※「養殖技術の生産者への普及」

(大分県農林水産研究指導センター 水産研究部) パネル2点

「おおいだAQUA NEWS」 no.31

(大分県農林水産研究指導センター 水産研究部)

「ぜんない」第17号 (全国内水面漁業協同組合連合会)

『平成20年度 大分県農林水産研究センター水産試験場事業報告』

『淡水類』 内山 りゅう (ジュリアン)

『天然記念物オオサンショウウオ生息地保存対策調査 報告書

1994』 (院内町教育委員会)

『オオサンショウウオ』 畑 正憲 (全国学校図書館協議会)

『川の王さまオオサンショウウオ』 広島市安佐動物公園

(新日本出版社)

カスミサンショウウオ/オオイタサンショウウオ/

ブチサンショウウオ

写真 各1点

オオサンショウウオ

パネル3点

30点

【計67点】